

(文部科学省平成26年度委託事業)
「総合的な教師力向上のための調査研究事業」

—初任者研修の抜本的改革—



調査研究テーマ

ジョブシャドーイングの取組による
初任者研修の抜本的改革

北海道教育委員会

北海道における初任者研修の現状と課題

現状

- 拠点校方式により、初任者4人に対し、1名の指導教員を配置している。
- 道教委計画研修は、学校を離れ、集合研修により、教員としての基礎知識・技能等について研修(1年次 7日間)。
- 学校計画研修は、学校内で、指導教員等の指導助言を受けながら、計画的な授業研究等を実施(1年次150時間以上)。

課題

- 1名の指導教員の指導が4人の初任者に分散。
- 初任者配置が広域であるため、拠点校が組めない場合もある。
- 初任者が担任をもったり、単独で教科指導を行うためには、ある程度の力量を身に付ける期間が必要。

ジョブシャドーイング

卓越した指導力のある教員（初任者指導教諭）
が初任者をマンツーマンで指導

- 効果的、効率的な研修を実施
- 継続的な指導体制や
初任者が研修に専念
できる校内体制を整備
- 優れた教育書を紹介し、
有効に活動



ジョブシャドーイングによる指導

初任者

○1年間、原則として学級担任や単独授業はもたない

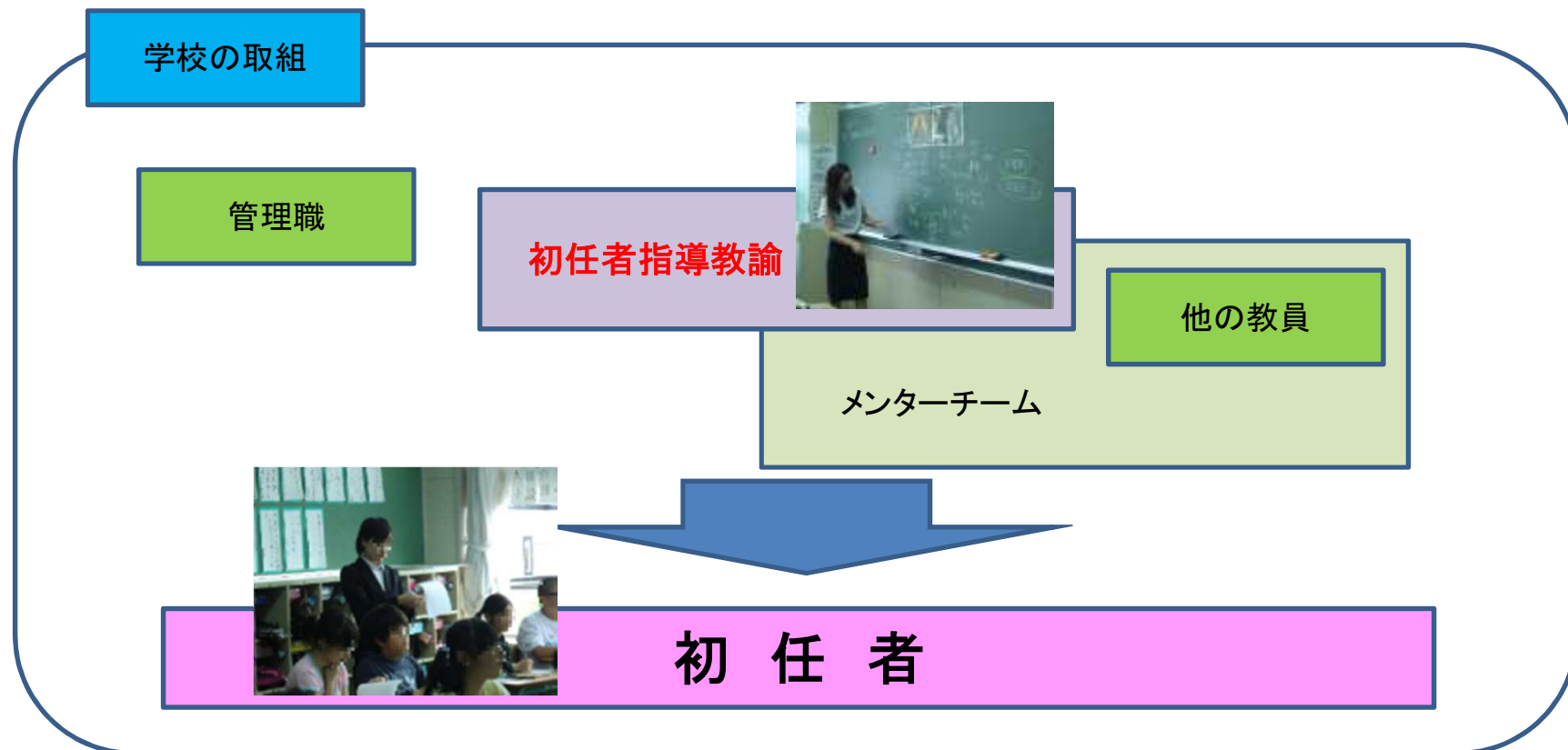
○指導教諭等とチームティーチング(TT)

- ・授業内外の各種業務の総体を常に間近で観察
- ・頻繁に省察(リフレクションシートに毎日記述)
- ・指導教諭の指導方法等を徹底的に研修

◇シャドーイングについては、初任段階教員研修における学校計画研修に位置付け、次の内容を盛り込んでいる。

説明・発問・指示、ノート指導、発声方法、机間指導、教材研究、指導案・週案づくり、学級通信づくり、通知表の所見欄の記入、校務の効率的処理、家庭訪問や保護者対応、地域との連携等、

シャドーイングの校内体制



指導体制の類型

類 型	主 な 内 容
A	学級を担任する教諭を初任者指導教諭とする。初任者は副担任とする。
B	・学級を担任する教諭、教務主任、研修主任等を担当する教諭の2名を初任者指導教諭とする。 ・2名の教諭は効果的・効率的に実施できるよう役割分担などを工夫する。
C	・教務主任、研究主任等を担当する教諭を初任者指導教諭とする。 ・初任者は初任者指導教諭の指示、指導の下に他の教諭等のシャドーイングも行う。

指定区分	指定校名	指導体制の類型
実践推進校 (学校力向上実践指定校)	北広島市立大曲小学校	B
	旭川市立大有小学校	C
	名寄市立名寄小学校	B
	大樹町立大樹小学校	B
	網走市立網走小学校	B
調査協力校	北見市立三輪小学校	B
	倶知安町立北陽小学校	C
	釧路市立芦野小学校	C
	旭川市立愛宕東小学校	A
	室蘭市立旭ヶ丘小学校	B

ジョブシャドーイングによる効果

○初任者にとって

- ・マンツーマンによる指導を通して、授業はもとより、生活指導や校務処理など、幅広い内容を学ぶことができる。
- ・副担任として、担任の教諭をシャドーイングすることで、1年間の担任業務が把握でき、次年度以降の学級経営に自信をもって望むことができる。
- ・シャドーイング後に、指導教諭とリフレクションを実施することで、疑問点や不明点等をすぐに解消でき、次時の指導計画の改善に生かすことができる。
- ・子どもへの対応を間近で観察することで、指導の意図を確認することができる。
- ・指導教諭の適切な指導により、自己の課題を浮き彫りにして改善につなげることができる。

学校力の向上にも寄与

○組織力

- ・全校体制で新任者に指導することで、教職員のチーム力が向上している。

○メンター

- ・新任者の育成にかかわることで、ミドルリーダーとしての自覚が醸成されている。

○新任者指導教諭

- ・新任者への指導を通して、自己の実践を振り返る機会となっている。
- ・北海道教育委員会が後援する民間教育研究団体等の教員セミナーに積極的に参加し、自己研鑽に努めている。

ジョブシャドーイング導入に向けた配慮事項

○加配教員の配置

- ・ジョブシャドーイングをマンツーマンで実施するに当たっては、初任者の配置校への加配が不可欠。

○初任者指導教諭の養成

- ・卓越した指導力のある教員の計画的な育成が必要。

○学校における組織体制

- ・ジョブシャドーイングを効果的に進めるため、管理職や初任者指導教諭が職員に対し、ねらいの周知を図り、全校体制の研修システムが必要。

○保護者への説明

- ・ジョブシャドーイングを行う初任者の位置付けについて、保護者に対する十分な説明が必要。

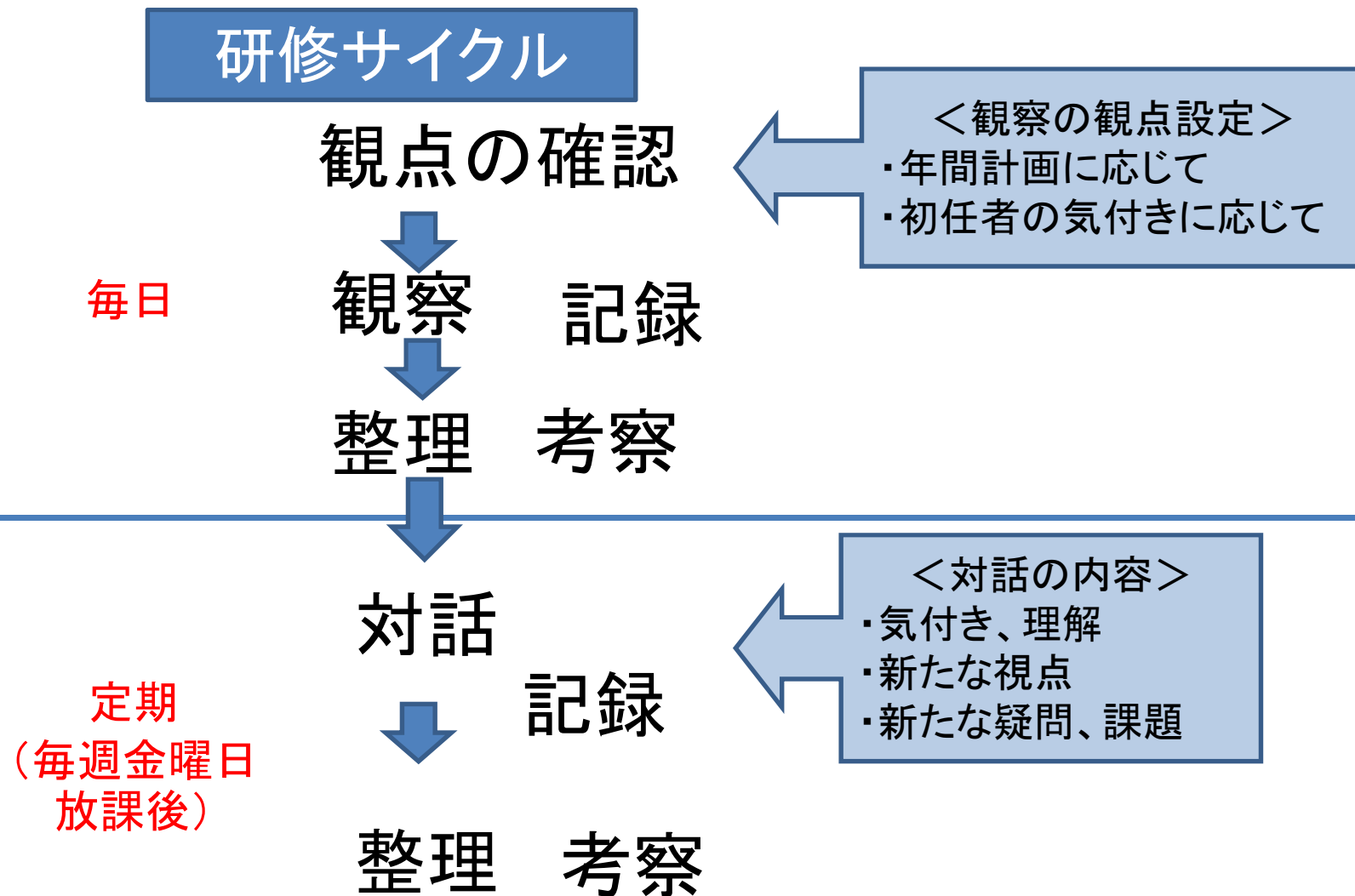
旭川市立愛宕東小学校のジョブシャドーリング

学校所在地は、旭川市中心部から約6Km。
全校児童約700名，教職員約40名。
開校30周年を終えた、比較的新しい学校。

- 指導体制は、初任者1名に対して
初任者指導教諭1名の
マンツーマンで。
- 対象学級は、第5学年から
持ち上がった第6学年。



1 日常の指導



■ 観察の場面

- 授業
 - 休み時間
 - 朝の会, 帰りの会
 - 給食
 - 掃除
 - 忘れ物指導
 - けんかやもめ事
 - 教室設営
- など

観察の観点：板書

5/29 (木)

P41 分数 ÷ 分数

⑦ $\frac{7}{8} \text{ m}^2$ のかべを 2 dL でぬれる

0 $\frac{7}{8}$ (m²)

0 1 2 (dL)

式 $\frac{7}{8} \div 2 = \frac{7}{8 \times 2} = \frac{7}{16}$

答 $\frac{7}{16} \text{ m}^2$

① $\frac{3}{5} \div \frac{1}{3}$

0 $\frac{3}{5}$ (m²)

0 $\frac{1}{3}$ (dL)

式 $\frac{3}{5} \div \frac{1}{3} = \frac{3}{5} \times 3 = \frac{9}{5} = 1 \frac{4}{5}$

20 500
50

5 ÷ $\frac{1}{4} = 5 \times 4 = 20$

$\frac{3}{5} \div \frac{1}{3}$ の計算のしかた

★ 1 dL は $\frac{1}{3} \text{ dL}$ の何倍かを考える。

0 $\frac{1}{3}$ (dL)

0 1 2 3 (dL)

式 $\frac{3}{5} \div \frac{1}{3} = \frac{3}{5} \times 3 = \frac{9}{5} = 1 \frac{4}{5}$

② $\frac{3}{5} \div \frac{1}{2} = \frac{3}{5} \times 2 = \frac{6}{5}$

③ $\frac{5}{6} \div \frac{1}{5} = \frac{5}{6} \times 5 = \frac{25}{6}$

■ 指導者の意図

○ 板書

- 文字の大きさ
- 文字の濃さ
- 板書事項
- 板書と発言の関連
- 板書の際の教師の体の向き
- 板書のタイミング

■ 初任者の視点

- 字は丁寧で、図や絵も素早く書いている。
- 直線は定規でひいている。
- 児童が活動している間に書いている。
- 児童に見やすいように、からだを開いて書いている。
- チョークの使い方の工夫、蛍光色紙などを活用し、見やすい。
- 必ず全員が話す場面をつくっている。
- 色々な指名のバリエーションがある。
- つぶやきを拾っている。
- 声の大きさなどの指導も同時にしている。
- 自己肯定感がもてる声掛けをしている。
- 意欲を高める導入の工夫がある。
- 発表して話し合う場面が多くある。

■指導意図と初任者の視点を比較しながら行うリフレクション

観察の観点：「板書」

- 板書の基本パターンを理解することができた。
- 板書と授業計画、児童の発言が密接にかかわっていることに気付いた。
- 板書することにより、理解が深まったり、考えを広げたりすることをさらに学んでほしい。
- 視点が拡散してしまったところもあるが、板書以外の見取りは教師として大切な視点として観察を続けてほしい。
- 指名一つをとっても教師の指導観や教育観があることに目を付けている。授業の中で子どもは育っていくので、授業技術だけに目をとめてはいけないことを学んでいる。

2 授業づくり

授業指導

教材研究

考察

個人

指導案作成

事前検討

記録

共同

授業

考察

振り返り

■授業（社会「世界の中の日本」）

3月4日



① 地図帳クイズ

② 2枚の写真と比べる

「昔、たこや-トビかく」

・ 時間 みる

・ 「見た人」のうろ

なんでこんなに変わってしまったのか

⑥ 他に知っている 環境問題

自然災害との区別

③ なんでこんなに
変わってしまったのか?

指名

④ 先にさっさとした

「トビかく」

⑦ 接続

知、子、取りくみ

指示が通らない

⑤ 何かあるか
10秒間 考える

↓

列 指名

自由発言

たはゆり

書き 列 指名

⑧

どうか
あてはまる

指導

① 本題

・ 見事に60秒

・ 何をかき

・ 3秒

・ 3秒の3秒

社

2015. 3. 4 (水)

170. 世界の中の日本

書きの夢中

みんが
やまは

矢張り

もと NICE

教育

これを上げる

・ しやあ、とんたこと

・ 教えるらしい?

<リフレクション>

この1年の学びを存分に活かした授業であった。指導内容が整理され、指導言も明瞭であった。緊張と緩和、個人思考と集団思考を授業のどの場面で行うかが感覚的に身についてきている。授業の中で学級づくりをする、児童を育てることが、個人への声かけやフォローから伺えた。資料の選定、発問にもセンスを感じる。児童の側に立って授業をつくるという意識が育ってからこそ見えた成長であると考え。次年度は学級担任として毎日授業を行う。本時の目標は何か、どう資料提示するか、どう発問するかということももちろん大切だが、常に児童の実態から離れない授業づくりを心掛けてほしい。

3 テーマ別指導

- 1 素材研究の仕方
- 2 行事指導省察
- 3 学級通信指導
- 4 通知表所見指導
- 5 指導言～朝の会の連絡より
- 6 一日学級担任体験
- 7 教育書研究指導
- 8 研修会参加リフレクション法
- 9 電話・お茶出しのマナー
- 10 合唱実技指導 等多数

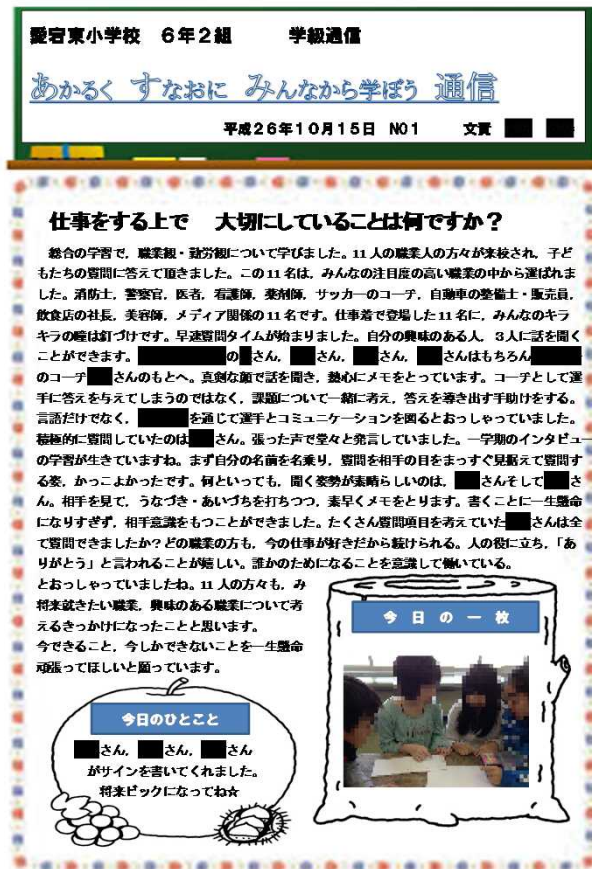
例:テーマ3・学級通信指導

□ねらい

学級通信の発行の意義を理解し、作成の技能を身に付ける。

□学級通信発行に当たって

- ・定期的に発行することで、安定した仕事への評価が得られる。
- ・欲張らず、学級通信を書くことだけが教師の仕事ではない。
- ・短時間で書けるフォーマットを工夫せよ。
- ・学級通信に書くこと、つまりアウトプットするという前提があるから、選択的にインプットでき、適切な視点をもって子供を見ることが出来る。
- ・学級通信は学級の物語を紡ぐもの。よさや嬉しさを共有することが学級や個人の成長につながる。
- ・学級通信は公文書であるという意識をもつこと。よって、管理職の目が通ったものを発行しなくてはならない。誤字・脱字はもちろん、不適切な表現には十分気を付けるべきである。



第1号へのアドバイス

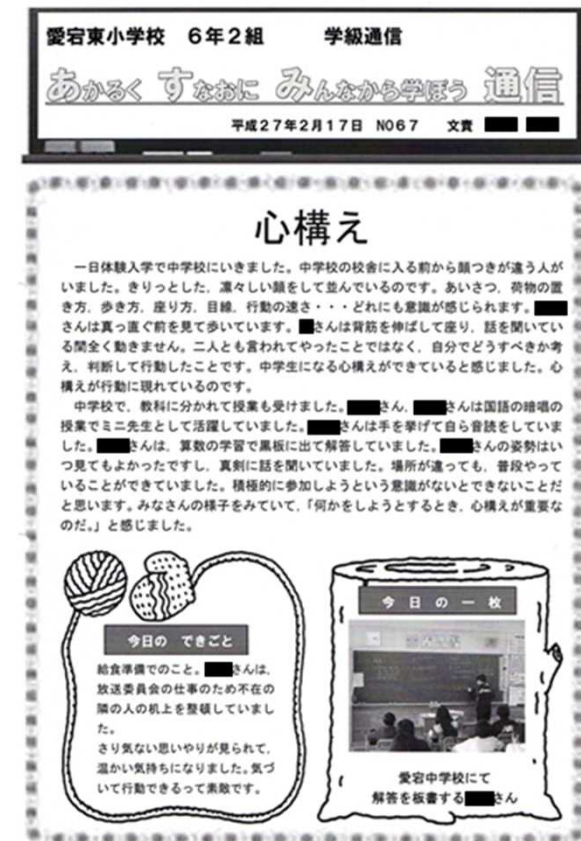
- ・文章が長い。主張点がぼけている。
- ・熱のこもった文章ではあるが、定期便として作成できる見通しがあるのか。
- ・タイトルがよい。
- ・たくさんの子の活躍や成長を記そうとしている。見取ることができる証拠である。



学級通信は資料別紙

<リフレクション>

全体的に、すっきりとまとまっている。子どもの姿が鮮明に浮かぶ。教師の教育観が感じられる書きぶりである。「今日の一言」より「今日のできごと」の方がよい。少しでも多く、児童の姿を伝えようとする思いを感じる。



例：テーマ5・指導言～朝の会の連絡

（第一回目・・・記録を文字化したもの）

おはようございます。先生、先週の金曜日と木曜日
いなかったでしょ。何をしていたかという、旭川市
内の他の小学校の授業を見てきました。そこでね、
6年2組のみんなと、他の学校の人はどこが違うの
かなって研究してたの。一番違うところに気づきま
した。

確かに、姿勢もいいんだ。でも、6の2のみんなの
方がいいな、って思ってた。手の挙げ方もピッ
としていていいな、でもみんなの方がいいな。一番
違ったのは何かというね、返事と発表の声の大き
さです。他の学校にも、クラスに一人二人はもとき
君みたいに大きな声の人はいるんだ。でもね、愛宕
東小学校の6年2組みたいにクラス全員が大きな声
を出せる学級は他にないんだな、と気が付きました。
みんなのすばらしさを改めて実感しました。今週も
みんなの素晴らしい声を聴かせてください。

□ねらい

指導言を見直し、
端的明瞭に話す力
を鍛える。

□実施方法

- ・朝の会で一つの連絡事項を伝える。
- ・録音したものを文字化する。
- ・修正案を作成する。





＜アドバイス＞

- ・視線が全体に向いていなかった
- ・話が長い、端的明瞭に！
- ・声が小さい
- ・ unnecessary 発言が多い
- ・内容が分かりにくい、伝わりにくい

（修正後）

先週、他の小学校の6年生の授業を見ました。そこで分かったことがあります。愛宕東小学校の6年2組は授業態度が非常に素晴らしいことです。例えば、よい姿勢、大きな声で発表、聞く態度など。学級の中の数人ができる学級はほかにもありますが、みなさんのように全員ができる学級は他にはないことが分かりました。今日の学習態度も期待しています。

4 成果

- ・時系列に沿った観察を通して、学級の成長物語を肌で感じることができる。
- ・学級担任の業務を多面的、俯瞰的に観察することで、見えない仕事が見えてくる。
- ・指導の背景を理解して、適切な指導内容、タイミングを学ぶことができる。
- ・すべての教育活動の根底には教育観が一貫していることに気付く。

■効果的なジョブシャドーイングにするために ～初任者指導教諭として～

- ジョブシャドーイングについての正しい理解
- 精神的に支え見守る体制づくりとして、教職員の全面的な理解と協力が必要
- 全教職員、保護者、児童への早い段階での周知
- メンターチームの育成。同年代での切磋琢磨
- 2年目以降のフォローアップ体制

あかるく すなおに みんなから学ぼう 通信

平成26年10月15日 NO1

文責

仕事をする上で 大切にしていることは何ですか？

総合の学習で、職業観・勤労観について学びました。11人の職業人の方々が来校され、子どもたちの質問に答えて頂きました。この11名は、みんなの注目度の高い職業の中から選ばれました。消防士、警察官、医者、看護師、薬剤師、サッカーのコーチ、自動車の整備士・販売員、飲食店の社長、美容師、メディア関係の11名です。仕事着で登場した11名に、みんなのキラキラの瞳は釘づけです。早速質問タイムが始まりました。自分の興味のある人、3人に話を聞くことができます。■■■■の■■さん、■■さん、■■さん、■■さんはもちろん■■のコーチ■■さんのもとへ。真剣な顔で話を聞き、熱心にメモをとっています。コーチとして選手に答えを与えてしまうのではなく、課題について一緒に考え、答えを導き出す手助けをする。言語だけでなく、■■■■を通じて選手とコミュニケーションを図るとおっしゃっていました。積極的に質問していたのは■■さん。張った声で堂々と発言していました。一学期のインタビューの学習が生きていますね。まず自分の名前を名乗り、質問を相手の目をまっすぐ見据えて質問する姿、かっこよかったです。何ととっても、聞く姿勢が素晴らしいのは、■■さんそして■■さん。相手を見て、うなづき・あいづちを打ちつつ、素早くメモをとります。書くことに一生懸命になりすぎず、相手意識をもつことができました。たくさん質問項目を考えていた■■さんは全て質問できましたか？どの職業の方も、今の仕事が好きだから続けられる。人の役に立ち、「ありがとう」と言われることが嬉しい。誰かのためになることを意識して働いている。

とおっしゃっていましたね。11人の方々も、み将来就きたい職業、興味のある職業について考えるきっかけになったことと思います。

今できること、今しかできないことを一生懸命頑張してほしいと願っています。

今日のひとこと

■■さん、■■さん、■■さんがサインを書いてくれました。

将来ビックになってね☆

今日の一枚

あかるく すなおに みんなから学ぼう 通信

平成27年2月17日 N067

文責

心構え

一日体験入学で中学校にいきました。中学校の校舎に入る前から顔つきが違う人がいました。きりっとした、凛々しい顔をして並んでいるのです。あいさつ、荷物の置き方、歩き方、座り方、目線、行動の速さ・・・どれにも意識が感じられます。■さんは真っ直ぐ前を見て歩いています。■さんは背筋を伸ばして座り、話を聞いている間全く動きません。二人とも言われてやったことではなく、自分でどうすべきか考え、判断して行動したことです。中学生になる心構えができていると感じました。心構えが行動に現れているのです。

中学校で、教科に分かれて授業も受けました。■さん、■さんは国語の暗唱の授業でミニ先生として活躍していました。■さんは手を挙げて自ら音読をしていました。■さんは、算数の学習で黒板に出て解答していました。■さんの姿勢はいつ見てもよかったですし、真剣に話を聞いていました。場所が違っても、普段やっていることができていました。積極的に参加しようという意識がないとできないことだと思います。みなさんの様子を見て、「何かをしようとするとき、心構えが重要なのだ。」と感じました。

今日の できごと

給食準備でのこと。■さんは、放送委員会の仕事のため不在の隣の人の机上进行きを整頓していました。

さり気ない思いやりが見られて、温かい気持ちになりました。気づいて行動できるって素敵です。

今日の 一枚



愛宕中学校にて
解答を板書する■さん